



使っていますか?ぎふっこカード・ぎふっこカードプラス

「ぎふっこカード」が4月から新しいものにかわります。(今までお持ちのカードの有効期限は2024年3月31日までです)新しいカードは、郡上市役所児童家庭課・郡上市子育て支援センター・各振興事務所・大和保健福祉センターやまつつじで受け取ることができます。また、幼稚園、保育園、小・中・高校生については、各園・各学校より配布されます。

「ぎふっこカードプラス」は、県内に住んでいる18歳未満の子どもが3人以上いる世帯、3人目の子どもを妊娠中の方がいる世帯に交付するカードです。有効期限は18才未満の子どもが2人以下になった年度の3月31日までとなります。交付には市役所での申請が必要です。

現在「ぎふっこカード」を使用できる店舗は、郡上市内に176店舗、「ぎふっこカードプラス」を使用できる店舗は、郡上市内に73店舗あります。ぜひご活用ください!

ぎふっこカード・ぎふっこカードプラスについての店舗の詳細な情報は、[県ホームページ「ぎふ子育て応援団」](#)でご確認下さい。



参加無料
申込み必要なし



みんなおいでよ 木のおもちゃで遊ぼう!!

県の木育施設「木遊館」にもある木の魅力たっぷりの素敵なおもちゃをた〜くさんお借りして開放します!参加は自由、時間内であれば出入りも自由です。お弁当をもってきて食べてもOK。乳幼児親子・小学生など、どなたでも参加していただけます。気軽にご参加ください。

日時: 3月7日(木) 12時~15時

3月9日(土) 10時~13時 [11時からはおはなし会も予定しています]

場所: 郡上市総合文化センター 2階 多目的ホール

〈お問い合わせ先〉郡上市教育委員会社会教育課(服部) TEL67-1128

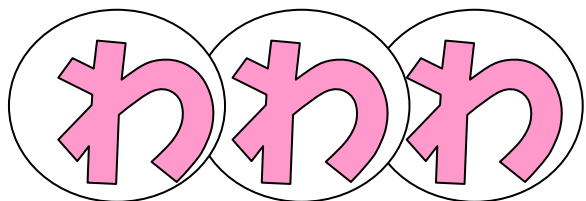


楽しいこと、見つけよう

メディアの使用が当たり前になり小さな子がスマートフォンを手にする機会もどんどん増えています。視力や発達への影響を心配する声もありますが日々の生活の中スマホに頼ってしまうことは少なからずあるようです。病院受診時など仕方なくということもあると思いますができることなら他に楽しめるものを見つけたいですね。お出かけ用のバックに折り紙やハンカチ、小さい絵本、シールブックの活用もお勧めと言います。これらを用意しておくことはもしもの時の避難の際にも役立ちます。外出先ではいつもと違う雰囲気や環境に不安を感じたり、走りたい、声を出したいのに思い通りにできなったりします。「静かにしなさい」ではなく「動きたいよね」と共感の声かけと、我慢している子どもの頑張りを認めてあげる事が安心感につながります。その上で「小さい声で話そうね」など子どもにできそうなこと、なぜそうするのかを繰り返し伝えてあげましょう。メディアはとて身近く避けることはできないものです。ですが今は親子一緒に外で体を動かしたり絵本を見たり、作ったりすることの楽しさや達成感を感じられる機会をもち、メディア以外にも楽しいことはいっぱいあると伝えていくことを心掛けたいです。子どもと笑いあえる時間を大切にしながらメディアとの上手な付き合い方を見つけていきたいですね。 M, T



郡上市子育て支援センター通信



2024. 3月号 NO. 189

郡上市子育て支援センター(はちまん児童館内)

〒501-4221 郡上市八幡町小野8-5-1

TEL(0575)66-0209(はちまん児童館)

時間/月~金曜日 8時30分~17時15分

~輪・和・笑~

子育て支援サイト URL <http://gujo-kosodate.net>



郡上市子育て支援サイト「わわわ」では、毎月の通信を見ることができます。また、市内のいろいろな子育て情報も発信しています。



自己肯定感を育もう



「自己肯定感」とは、「自分は大切な人間だ」「自分は生きている価値がある」「自分は必要な人間だ」という気持ちをいいます。「自分のいいところも悪いところも、みんな受け入れられ愛されている」ことを感じ育っていくことで自己肯定感は育まれます。心の土台が築かれる0~3才の頃に周りの大人が十分な関わりを持つことは、子どもの心の安心感につながります。

心をみたく8つのポイント

「子育てハッピーアドバイス 大好き!が伝わるほめ方・叱り方」明橋大二著 より

スキンシップ

抱っこする・一緒にお風呂に入る

ご飯をつくる・一緒に食べる

一緒に遊ぶ

子どもの気持ちをくんで言葉にして返す

「嫌だったんだね」「さみしかったね」「うれしかったね」

泣いたらよしよしする

子どもをまるごとほめる

「大好きよ」「うちの子がいちばん!」

「どんなことがあってもあなたの味方よ」

子どもの話を聞く

絵本を読む



8つのポイントは、普段何気なくやっていることだと思いますが、こういった普段の関わりの中で自己肯定感が育まれます。自己肯定感が高い子は、たとえ失敗することであっても立ち直る力があり、人生を前向きに生きていくことができると言われます。我が子のいいところも悪く思うところもまるごと受け入れる親でいたいですね。

ほめ上手で自己肯定感をグングン↑↑のばそう!

良い結果や大きな変化が見られた時だけでなく、大人の目から見て当たり前と思うようなこともほめる対象。子どもにとっては「できてうれしい」ことを、大好きな家族に「できたね」と認められることは、ポジティブな経験となり次の行動への意欲につながります。



他人に迷惑をかけたり危険が伴うことはきちんと叱ることも必要。その時に注意することは「お前は悪い子だ」など人格否定せず行動を注意しましょう。またどうしてダメなのかなど理由を説明しましょう。子どもは言っても同じことを繰り返すもの。根気よく伝えましょうね。

